



平成 27 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社岡村製作所
代表者名 代表取締役社長 中村 雅行
(コード番号 7994 東証第一部)
問合せ先 常務取締役企画本部長 土志田 貞一
(TEL. 045-319-3440)

中期経営計画について

当企業グループは、中長期の成長を目指した安定的経営基盤の構築、利益重視の効率的経営の実践、環境への配慮をはじめとする社会との信頼関係の向上を基本方針として経営活動を展開しております。

昨年度の業績および現在の事業環境などを勘案し、2017年3月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定しましたのでお知らせいたします。

1. 中期経営計画の目標

今年度の日本経済は、米国の利上げによる新興国への影響や中国経済の減速など不透明感は依然として残っているものの、雇用・所得の改善による個人消費の持ち直しや世界経済の穏やかな拡大などを背景とした企業業績の改善が予想されるなど明るさもみられており、緩やかに成長するものと予想しております。

そのような中、当社は下記の経営目標値の達成に向け、基本戦略に掲げる重点事項を実施し、業績向上を図ってまいります。

経営目標値(連結)

	2016年3月期	2017年3月期
売上高	2,260億円	2,320億円
営業利益	110億円	125億円
経常利益	120億円	135億円
当期利益	78億円	89億円
売上高営業利益率	4.9%	5.4%

2. 中期経営目標達成のための基本戦略

(1) 競争力の向上

各事業における優れた研究成果によるソリューション提案の展開とその提案を実現するコンセプト（デザイン、機能など）を備えた特徴ある製品の開発により他社との差別化を図ります。また、小ロット生産に対応した先進的な生産システムを更に進化させることで市場競争力の向上をめざすとともに、M&Aの推進等による各事業領域の拡大と教育の充実やローテーションの実施による人材育成の強化を通し、競争力の向上に努めてまいります。

(2) 国内事業基盤の強化

各事業間の連携強化と、総合力を活かしたワンストップサービスによるトータル提案の展開により、販売力の強化を推進してまいります。オフィス環境事業においては、主力の民間オフィス市場はもとより、教育施設、研究施設、官公庁・自治体などのオフィス周辺市場の需要開拓に注力します。とりわけヘルスケア市場について市場の成長性を鑑み事業本部を立ち上げて取り組んでまいります。商環境事業においては、顧客ニーズを捉えたトータル提案により売上規模の拡大を図るとともに、生産性向上との両輪により引き続き利益向上に努めてまいります。

(3) グローバル化による市場拡大

海外事業基盤確立のため、海外における販売拠点の整備や代理店の獲得による販売ネットワークの拡大に取り組むとともに、各種展示会への積極的な出展により、オカムラブランドの一層の浸透に努めてまいります。

以 上

(ご参考)

セグメント別売上高（連結）

	2016年3月期	2017年3月期
オフィス環境事業	1,220億円	1,255億円
商環境事業	900億円	920億円
その他	140億円	145億円
合 計	2,260億円	2,320億円